

## 平成 28 年度第 1 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時：2016 年 7 月 20 日(水)10 時から 12 時

2. 場所：情報科学技術協会会議室

( 文京区小石川 2-5-7 佐々木 4 階 )

3. 出席者：

委員	安形輝	亜細亜大学 ( SC4 リーダ )
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	木村麻衣子	慶應義塾大学
	中野茂	大日本印刷株式会社
	橋詰秋子	国立国会図書館
	宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

資料 1：平成 28 年度戦略的国際標準化加速事業実施計画書

資料 2 - 1：平成 27 年度第 1 回 ISO/TC46/WG1 国内委員会議事録

平成 28 年度第 1 回 ISO/TC46/WG1 国内委員会議事録

NettieLegace 氏からのメール

Form4 New Work Item Proposal

PreWD version 02

資料 2 - 2：ILII ballot information

ISO CD20247 ForBallot

Result of voting

資料 3：TC46 総会報告

ILL Tansactions 出席報告

資料 4 - 1：投票済み案件

資料 4 - 2：投票審議案件

5. 議題：

5-1) 前回議事録の確認と今回の議事録の作成者

前回の議事録を確認した。

5-2) 平成 28 年度実施計画

資料 1 に基づき実施計画のうち、SC4 に関連する箇所について説明がされた。

#### 5-3-1) デジタルアーカイブの利活用のための国際標準化

委員から資料 2 - 1 に基づき、進捗状況について説明がされた。7 月 3 日に日本からの新規提案がされ、事務局の対応待ちであることが紹介された。

#### 5-3-2) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子

委員から資料 2 - 2 に基づき、この標準案に関する経緯とともに進捗状況について説明がされた。5 月にようやく始まった CD 投票が 7 月 16 日に終わった。投票においてついたコメントについて特に ISIL と資料 ID を識別することについて詳細に説明がされた。

#### 5-3-3) デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備

「デジタルアーカイブの利活用のための国際標準化」に続く、標準化活動について検討がされた。委員からデジタルアーカイブは政府による知的財産推進計画に含まれるため、デジタルアーカイブに関連した標準化活動がよい、メタデータに関連する標準化活動については SC4 が関わる、という説明があった。新規標準化提案について継続して検討することとなった。

#### 5-4) ISO/TC46 総会、SC4 ウェリントン会議報告

資料 3 に基づき、宮沢委員が報告した。ILL Transactions WG では ISO 18626 についての進捗状況が報告された。RFIDWG では ISO 28560-2 の誤りについてマイナーリビジョンで処理し、SC4 事務局に任せることとなった。SC4 総会では、デファクトスタンダードを ISO 化していく方針に基づく標準化活動が多いことが報告された。TC46 総会では、各 SC での活動と、直下の WG の活動が報告された。

#### 5-5-1) ISO/TC46/SC4 国内審議：投票済み案件

資料 4-1 に基づき、今年、現在までに行われた投票済み案件について報告された。

#### 5-5-2) ISO/TC46/SC4 国内審議：投票審議案件

資料 4 - 2 に基づき、投票審議が行われた。ISO/NP15836-2 については担当委員が作成した回答案に基づき、検討を行い、問 1b については、NII や NDL を想定し、原案の”No”ではなく”Yes”とすることとした。ISO2709:2008(Ed 4, vers 2)および ISO1511:2011(Ed 3)について担当委員を決め、回答案を作成することとなった。

(以上)